

【第3報 終報】E41東海北陸 上り線 101.6KP付近における雪氷作業(雪庇落とし)高所作業車アウトリガー 挟まれ事象

【発生日時】 令和8年1月8日(水) 10:00頃

【発生場所】 E41 東海北陸自動車道 上り線 101.6KP付近

【工事件名】 2025年度 東海北陸自動車道 管内維持修繕業務

【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社

【概要】 上り線101.6KP付近にて雪庇落とし作業を実施中、高所作業車の自動設置アウトリガーを当人が操作・設置していた。アウトリガーの動作中に、運転席側荷台の道具を下ろそうとし、アウトリガー設置位置に右足を置いてしまい、右足の甲を挟まれた。
その後、同乗者が気づき設置を停止したもの。
事故発生直後については、痛みも少ない為、問題ないと思い作業を実施。
現場作業を終了し、事務所に帰社後 足に痛みがあった為、メンテ責任者へ連絡したもの。

【被害状況】 人的被害 あり

(右足 第2指 中足骨骨折)

物的損害 なし

【第三者被害】 なし

【マスコミ報道】 なし

【時系列】

1/8 10:00頃 事故発生
痛みも少ない為、問題ないと思い作業実施(メンテ責任者には報告せず)
16:20 現場終了後、本人よりメンテ責任者に 痛みがあると申告
16:25 メンテ責任者より総合職へ報告
16:32 保全センター及びメンテ本社へ報告
16:40 へ受診へ出発
17:00 緊急安全大会実施
17:10 へ到着、受診開始
17:50 にて診察終了
(右足 第2指 中足骨骨折)
1/9 整形外科に再受診予定。

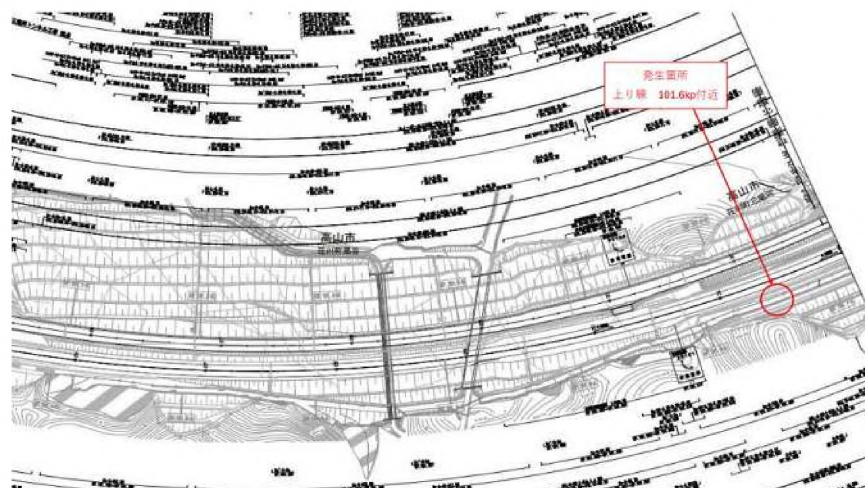
【原因】

- ①作業を急ぐあまり、自動アウトリガー設置完了前に一人で次の動作(道具の段取り)を行った。
- ②被災者は自動アウトリガー装置の危険性について理解・認識が薄かった。

【対策】

- ①アウトリガー設置操作時は、専任の監視員の元 操作者が操作し周囲の立入りを禁止すると共に設置完了するまで離れない。
- ②自動アウトリガー設置前に、注意喚起の明示と危険性の認識を持つ目的でアウトリガー後方左右にラバーコーンを設置する。
- ③自動アウトリガー 2段階設置タイプの車両に順次変更する。
- ④アウトリガー前後 中間部荷台上に「人感センサー」を設置し、操作者はセンサー作動時はアウトリガー設置開始しない
また、センサー作動時は非常停止ボタンにより中断する

位置図



事故状況

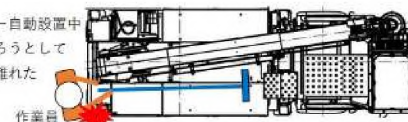
アウトリガー自動設置中に
道具を取ろうとして
操作盤から離れた



作業員

荷台から道具を取ろうとした時に
アウトリガーに足を挟まれた

アウトリガー自動設置中に
道具を取ろうとして
操作盤から離れた



作業員

荷台から道具を取ろうとした時に
アウトリガーに足を挟まれた

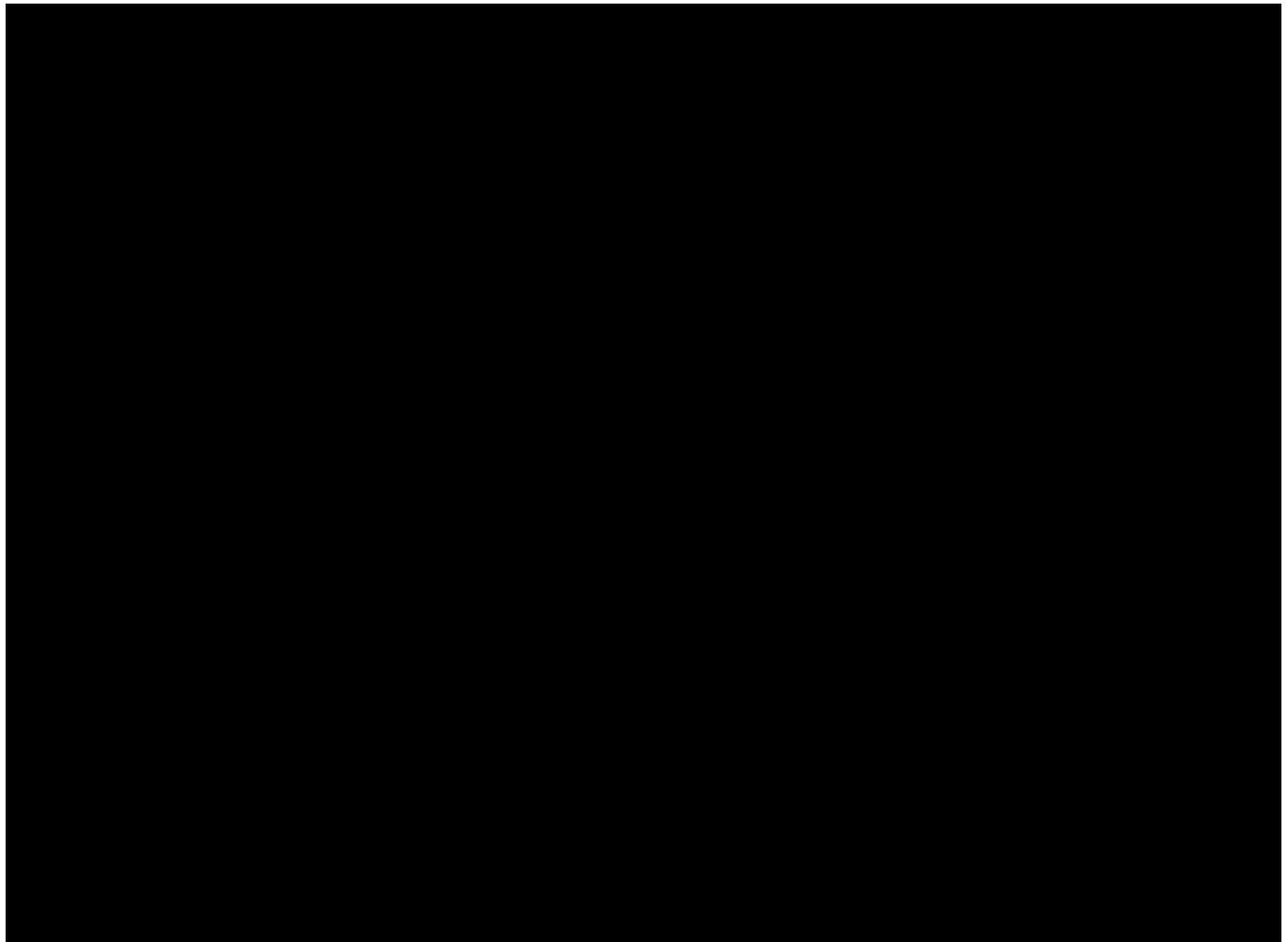
再現



本人が操作・張り出し中 運転席側荷台の道具を下ろそうとした際
アウトリガー張出し位置に右足を置いてしまい、右足の甲を挟まれた



安全大会実施状況



（小集団活動での意見）

- ・高所作業車の操作に不慣れ・経験不足だった
- ・早く作業を再開しようと焦りがあった
- ・アウトリガー構造の危険箇所が理解できていなかった
- ・一人作業をおこなっていた（声掛け・周囲確認が無かった）
- ・作業手順の熟知が出来ていなかった
- ・2段階操作の車両でなかった

（対策意見）

- ・注意喚起のステッカーを設置する
- ・リモコン操作で張出しができる構造があれば変更する

自動アウトリガー設置対策



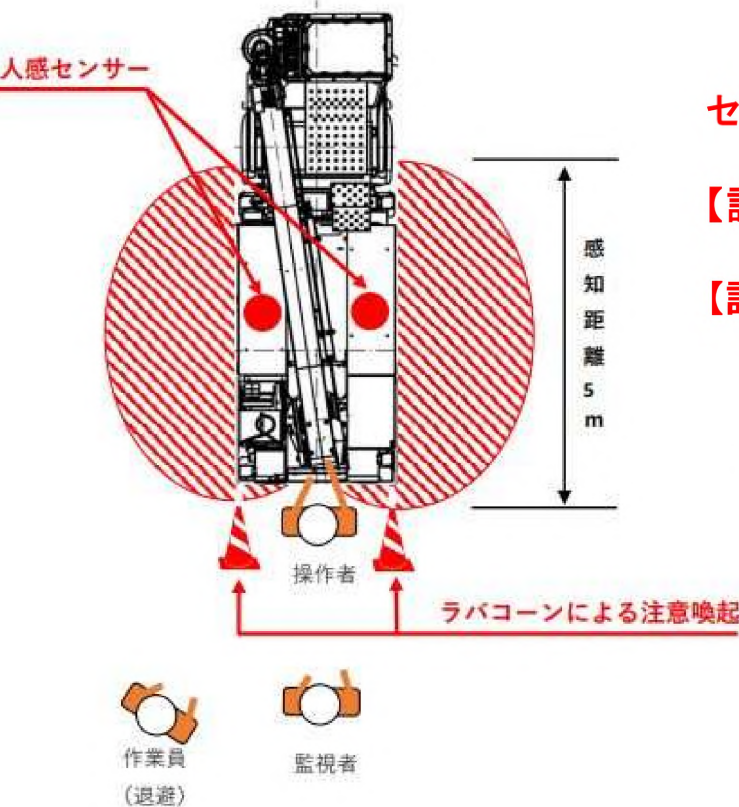
注意喚起の明示・危険性の認識
アウトリガー後方左右にラバーコーン設置

自動アウトリガー 2段階設置状況



- ①アウトリガー後方 左右にラバーコーンを2本 設置（注意喚起）
- ②アウトリガー前後 中間部荷台上に「人感センサー」を2基 設置（立入防止措置）
※次ページ参照
- ③専任の監視員の元、周囲の立入りを禁止。退避確認後、操作者が操作開始
⇒1段階目 操作 【路面高さ15 c mまで4点（本）同時に伸び停止】
⇒2段階目 操作 【前方より伸び設置。その後、後方が伸び設置完了】
- ④全てのアウトリガー設置確認後、ラバーコーン・人感センサーを撤去

【安全対策】注意喚起コーン、人感センサー



センサー作動時

【設置前】アウトリガー操作を開始しない

【設置中】非常停止ボタンにより中断する

人感センサー

センサー・アラーム

くるピカセンサーアラーム

人の動きに応じて、光と音で警告する LED回転・点滅灯

- 動作音が静かなので周囲への迷惑が少なく、作業中に使用しても問題ありません。
- 動作音が静かなので、周囲への迷惑が少なく、作業中に使用しても問題ありません。
- 動作音が静かなので、周囲への迷惑が少なく、作業中に使用しても問題ありません。

仕様

項目	内容
型式	SP-44
電源	単相100V 50/60Hz
消費電力	約10W
設置場所	作業現場
設置高さ	約1.5m
設置角度	約30度
設置方向	作業現場
設置方法	作業現場

価格

¥ 3,400

【作業手順書の見直し】

本作業		冠雪落とし										
	1	適切な保護具の着用	保護具未装着によるケガ	3	2	4	適切な保護具を使用し、着用の確認をする	全員	1	2	2	
	2	職長は「安全管理」心がける	作業員の不安全行動の見過ごしによるケガ	2	2	4	職長は作業より「安全管理・品質管理」に留意する	職長	1	1	1	
	3	高所作業車のセッティング	アウトリガーを張り出し時、作業員の足が挟まれ負傷する	3	3	5	自動アウトリガー設置前に、注意喚起の明示と危険性の認識を持つ目的でアウトリガー後方左右にラバコーンを設置する アウトリガー前後、中間部荷台上に「人感センサー」を設置し操作者はセンサー作動時はアウトリガー設置を開始 アウトリガー設置操作時は、専任の監視員の元、操作者が操作し周囲の立入りを禁止すると共に設置完了するまでその場を離れない アウトリガー設置中、センサー作動時は非常停止ボタンにより中断する	全員 操作者 全員	1 1 3 3	3 3 3 3		
	4	高所作業車のバケット操作	バケット操作時、周囲の構造物に接触する	3	3	5	バケット操作は慎重に行い、合図者を配置する	全員	1	1	1	
	5	冠雪落とし作業	冠雪を落とす際、落とした雪が下の作業員に接触する	3	3	5	落とす際は下に人がいないことを確認してから冠雪を落とす	全員	1	1	1	
	6	冠	冠雪を落とす際、落とした雪が通行車両に接触する	3	3	5	保安員の合図に従い、冠雪落としを実施する	全員	1	1	1	
	7	路面に落ちた雪の除雪	除雪作業中に一般車両と接触する	3	3	5	保安員の合図に従い、冠雪落としを実施する	全員	1	1	1	
	8	高所作業車の片付け	アウトリガー格納時、立入禁止内に侵入、接触し負傷する	2	2	3	格納時、立入禁止内へ進入しないようにする	全員	1	1	1	

- ・自動アウトリガー設置前にアウトリガー後方左右にラバコーンを設置（注意喚起）
- ・専任の監視員の元 操作者が操作し周囲の立入りを禁止
- ・アウトリガー前後 中間部荷台上に「人感センサー」を設置し、操作者はセンサー作動時はアウトリガー設置開始しない